

●パパもいっしょ



▲2月18日、パパと一緒に遊んだりパパ同士が情報交換をしたりする講座が行われ、たくさんの親子の笑顔が溢れました

●市民バドミントン大会



▲2月26日に開催された大会には、高校生から70歳代のかたまで26チーム120人が参加し、白熱した試合が行われました



みんなのひろば

●文化グループ発表会

2月18・19日、25・26日の4日間開催されました。ハワイアンダンスや合唱など、出演者は日頃の練習の成果を発表していました。



◀小ホールでは、水墨画や手工芸、絵画などの作品が展示されました

笑顔で話そう



永井定統

いなざわ植木まつり出店者会長

植木産業を盛り上げたい

●植木の生産に携わって

私は植木の生産卸販売を家族4人で営み、約7000本の植木・苗木を栽培しています。苗木から出荷できるようにするには5年程掛かります。植木の剪定作業や消毒薬の散布、時には台風や積雪対策などの苦労もありますが、太い幹や立派な枝ぶりなどの木に成長したときは、自信を持って出荷できるのでうれしいですね。

●いなざわ植木まつり

稲沢市には、国内各地のさまざまな種類の植木を仕入れる流通経路があります。これを活用して、今後入気が出そうな樹木の情報をいち早く入手し、その品種の栽培を始めることができれば、植木産業が活性化し発展していくのではないかと期待しています。

稲沢市には、国内各地のさまざまな種類の植木を仕入れる流通経路があります。これを活用して、今後入気が出そうな樹木の情報をいち早く入手し、その品種の栽培を始めることができれば、植木産業が活性化し発展していくのではないかと期待しています。

3月12日に開催された世界最大規模の女子マラソンである「名古屋ウィメンズマラソン」では、優勝者に私が生産したオリーブで編んだ冠が贈られました。冠に稲沢産のオリーブが使われることは、とても喜ばしいことだと思います。

皆さんが日々感じていることを語っていただく「笑顔で話そう」。今回はいなざわ植木まつり出店者会長の永井定統さんです。

●稲沢産のオリーブ

稲沢市は埼玉県川口市、大阪府池田市、福岡県久留米市と並んで植木の日本四大生産地の一つとして数えられる、日本全国だけでなく海外にも出荷をしています。主な出荷品は、「垣根もの」と呼ばれる生け垣に適したサザンカやキンモクセイなどの植木です。稲沢の植木は、根が傷みづらく品質の良いものとして知られていますよ。

もともと稲沢市ではオリーブは生産していませんでしたが、庭園用の

の機会にぜひ遊びに来てください。

